

## 2 年 A 組 保健体育科 学習指導案

日 時 令和4年11月11日(金)6限  
指導者 山中 努  
場 所 柔道場(2F)

### 1 単元名 武道(柔道)

### 2 指導にあたって

#### (1) 教材観

柔道は、柔道衣を着用し、相対する二人が直接畳の上で組み合い、攻防をしながら「一本」を目指して勝敗を競い合う対人的な技能を基にした運動である。「組み合う」「相手と接する」「投げる・抑える」といった他の種目にはない動きで、相手の動きに応じて攻撃したり、防御したりすることによって、勝敗を競い合い、互いに高め合う楽しさや喜びを味わうことができる。また、日本固有の文化である「武道」の一つで、伝統的な所作や礼が重んじられる。そこには、自己を律するとともに相手を敬う精神が込められていて、試合に勝つことだけを目指すのではなく、技能の習得などを通して「人間形成を図る」という考え方がある。授業を通して、相手を投げたり、自身が投げられたりすることで、相手の痛みを知り、相手を思いやる気持ちを学ぶとともに、相手を尊重する心、自らを律する心を持ち、礼法を守って行動するということを学習することができる運動でもある。

3年生では、1・2年時で学習した基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開させることを学習のねらいとしているため、2年生では、1年で学習した伝統的な考え方や基本動作を基に、3年生につながる基本の技をしっかりと習得していくことが求められる。

#### (2) 生徒観

生徒の多くは「運動を楽しみたい」「もっと上手になりたい」という気持ちで体育の授業に取り組んでいる。その一方で「運動は苦手だ」「技能が難しくおもしろくない」と思いながらも授業に参加しているという生徒も少なくない。

昨年度の柔道の時間では、伝統的な考え方や所作、基本動作である受け身の習得に取り組んできた。特別難しい動きなどはなかったために、意欲的に学習に取り組む様子が見られた。ただし、今年度については相手と組み合う、相手を投げるなど、経験したことのない技能が多いため、生徒によっては上手くいかないことなどが続くことで、やる気をなくし意欲の低下に繋がってしまうことも考えられる。

体を動かす活動の他に、ペアやグループで「どうすればできるようになるのか」「どこをどんな風に改善すればよいのか」を考え、交流する場面を意図的に取り入れてきた。話し合い活動の場面では、自分なりの考えや意見を理由も付けて相手に伝えられる生徒が多い。

#### (3) 指導観

1年時には、撮った動画から自分の課題となる部分をグループで話し合いながら見つけ出す活動を行ったが、動きとしては自分自身で技能のポイントや課題を意識して一人で動く技能だったため、課題や解決策などは見つけ出しやすかった。今年度は、相手と組み合った状態からの技能のため、相手の動き・状態に合わせた動作が必要になってくる。自分の動きと同時に組み合った相手の状態なども重要となってくるため、「考える軸」で課題等を焦点化したり、何のどことの比較なのかを明示したりすることで、考えが幅広くならないよう工夫したい。そのようなのを絞った考えから、全体で考えを深められるような発問や問い返しを行い、少しでも深まりのある授業にしていきたい。

技能の3つのポイントの整理や、技能の習得に関して、1年時よりも複雑になるために、段階的に分かりやすくスモールステップで進める所と、挑戦してみても気付かせる所など、活動にめりはりを持たせながら授業を進めていきたい。

### 3 本時の学習（本時 4／8）

#### (1) 本時のねらい

膝車の技のポイントやつまずきの事例を基に、仲間の課題や出来映えを伝えることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

#### (2) 準備・資料等

掲示物、学習カード、Chromebook

#### (3) 本時の展開

時間 (分)	学習活動	予想される生徒の思考・反応	指導上の留意点	評価規準 【観点】 (評価方法)
8	整列・黙想・挨拶 健康観察 体操をする。 受け身をする。		<ul style="list-style-type: none"> <li>落ち着いた状態で黙想を行い、安全に活動できるよう、心身の準備を意識させる。</li> <li>できている生徒をほめながら、受け身のポイントにもふれながらカウントする。</li> </ul>	
5	本時の課題を確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>技を上手にかけるには、どんな事に気を付けるとよいだろうか</b> </div>		
	前時の学習内容に関する発問	<ul style="list-style-type: none"> <li>投げ技は、崩し・体さばき・技のかけの3つポイントが大切だったぞ。</li> <li>膝車の崩しは右前すみ、体さばきは右足前さばきだったな。</li> <li>技のかけは、左足裏・引き手・釣り手等の使い方が重要だったな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホワイトボードに掲示物を貼り、視覚的にも思い出せるようにする。</li> </ul>	
10	動画の比較 <b>Chromebook</b> <b>比較</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お手本と比べて時に、崩しが上手くできていないな。引き手をもっと思い切って引こう。</li> <li>左足裏を当てるタイミングが分かった。早めにかけるようにするぞ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お手本と自分の動画を見比べる。グループでそれぞれの課題を見つける。</li> <li>課題は、3つのポイントの中から見つけるが、その時の体の使い方がどうかなど、具体的に挙げる。</li> <li>見つけた課題に対しての解決策も話し合うよう伝える。</li> </ul>	◎膝車の技のポイントやつまずきの事例を基に、仲間の課題や出来映えを伝えている <観察・学習シート>
10	技能習得のための練習 <b>焦点化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題と解決方法を意識して投げてみよう。</li> <li>前回より、スムーズに投げれるぞ。</li> <li>思っていたより、強く引き手を引かないと上手く投げられないな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まずは、話し合いで確認したポイントと課題に焦点化して練習するよう伝える。</li> <li>上手くいけば練習を繰り返す。そうでなければ、解決法をペアで相談しながら練習する。</li> </ul>	(ペアでの練習時でも仲間に課題や出来映えを伝えているか見る)
5	本時の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>崩しの部分の手の使い方を工夫することで上手く投げられたぞ。</li> <li>ポイント等は理解したが、上手くいかなかったな。</li> </ul>		
6	深めの発問	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>深</b> 上手く投げるために、一番大切なポイントはどれでしょうか？ </div>		
	挙手で確認する	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見がばらけたな。</li> <li>崩しが一番だろう。でも他の2つも大事だな。</li> <li>もしかしたら、3つとも大切なんじゃないかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選んだ理由について問い返し、どのポイントも大切だということ、さらに連動させて行うことも大事であると気づかせる。</li> </ul>	
6	問い返す ・どうしてばらせるのかな？			
	本時の授業の振り返りを書く。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>自分の課題は、〇〇〇だった。ただ、〇〇〇だけ気を付けても、技は上手いかなことが多い。3つのポイントを連携させながら技を仕掛けることで、上手く投げることができると分かった。</b> </div>		
	整列・挨拶			

